

ホタテガイ採苗速報

早めの稚貝採取で体力のある稚貝を育成するようにしましょう

1 各地採苗器への付着状況

7月2日～6日に行った第2回臨時付着稚貝調査の結果は、図1～3および表1(別表)のとおりです。

ホタテガイ稚貝の平均殻長(間引き後)は、西湾で5.64mm、東湾では3.68mmでした。

2分のフルイで残る割合は、西湾で36.9%、東湾では2.0%でした。

2 海況

各ブイの6月30日～7月6日の週別平均水温は、表2のとおりです。半旬別水温は、平館ブイ、青森ブイ、東湾ブイの15m層でいずれも平年よりもやや高めとなっています。

3 今後の見込み

稚貝の大きさから判断して、2分のパールネットに稚貝採取する場合は西湾で今週末、東湾で再来週になる見込みです。

ただし、付着数や間引きの時期、今後の水温の動向によって成長に差があるので、稚貝の成育状況を見ながら作業を進めてください。

また、稚貝採取が遅くなるほどムラサキガイが成長し、足糸を出してホタテガイ稚貝とくっつきやすくなり、作業効率が悪くなるので注意しましょう。

今年の夏は水温が高くなる可能性があることや、高水温時には稚貝がエネルギー不足でへい死することから、早めの稚貝採取により体力のある稚貝を育成するようにしましょう。

4 稚貝採取時の注意事項

(1) 稚貝を大切に扱きましょう。

○作業は早朝の涼しい時間帯に行い、タライや水槽の水温が上がらないように、シート等で直射日光を防ぎましょう。

○タライや水槽の水は出来るだけ深い水深帯から汲み上げ、かけ流しにしましょう。かけ流しにできない人は、タライの海水を頻繁に交換してください。かけ流しまたは海水の交換がないと水温上昇および酸欠で稚貝が死んだり、成長不良になることがあります。

○稚貝は、海水温が26℃を超えるとへい死の危険性が高くなります。海水温を計ったり、海況自動観測ブイならびに水温自動観測ブイの水温(下記URL、QRコード)を参考にしながら26℃を超す日は稚貝採取をしないでください。

○稚貝は乾燥にも弱いので、手早く作業を行いましょう。

(2) 適正保有数、適正収容数を守りましょう。

○稚貝採取では決められた保有数を守りましょう。

○パールネット1段当たりの収容数を適正にしましょう。

(3) 採取後の管理に気をつけましょう。

○採取後の稚貝が足糸でネットに付着しているかどうかを見ながら作業を進めましょう。

○水深が浅いほど水温は高く、潮も速いので、採取後は施設を中層以深に沈めましょう。また、立ちきり(土俵)やオモリをつけて、施設やネットを安定させましょう。

○採取後も一部の採苗器を残しておきましょう。

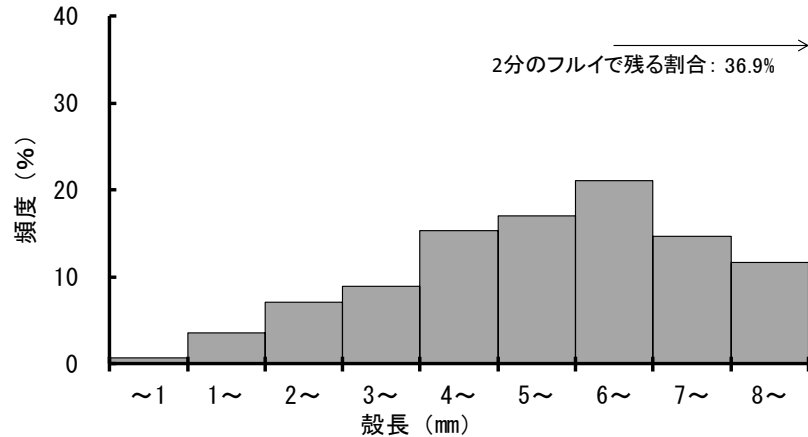


図1 ホタテガイの殻長組成 (西湾平均)

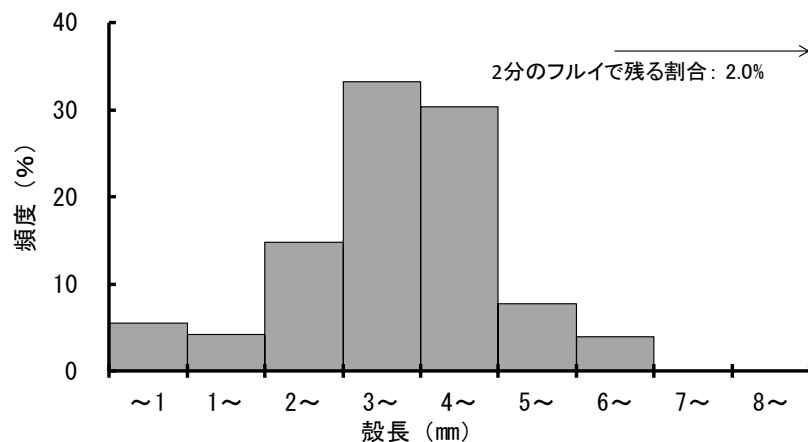


図2 ホタテガイの殻長組成 (東湾平均)

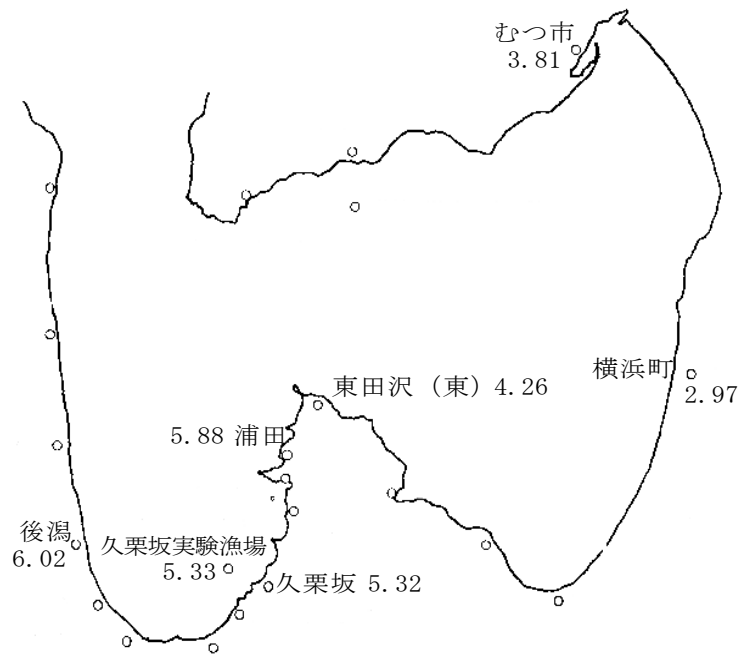


図3 調査地点毎の平均殻長 [単位: mm]

表2 各ブイの1週間(6/30～7/6)の週別平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	15.0～17.5	東田沢ブイ	15.3～17.4	横浜ブイ	14.4～17.3
奥内ブイ	-	野辺地ブイ	14.3～17.4	浜奥内ブイ	14.9～17.4
青森ブイ	14.2～18.0	東湾ブイ	11.1～17.6	川内ブイ	13.7～17.2

--:メンテナンス中

